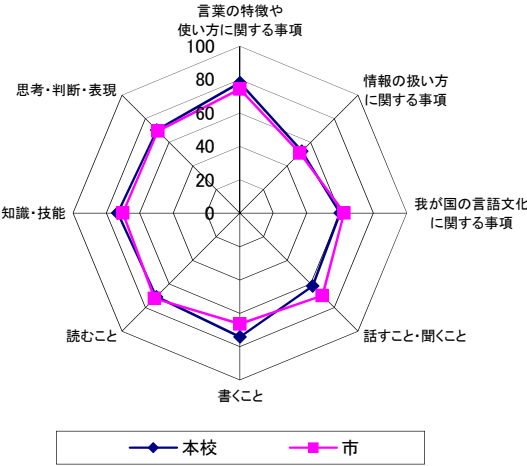


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 78.2 | 74.3 | 74.8 |
|     | 情報の扱い方に関する事項    | 52.5 | 50.9 | 48.4 |
|     | 我が国の言語文化に関する事項  | 60.0 | 62.4 | 60.8 |
|     | 話すこと・聞くこと       | 61.7 | 69.9 | 69.7 |
|     | 書くこと            | 74.2 | 66.4 | 64.6 |
|     | 読むこと            | 70.8 | 72.3 | 71.0 |
| 観点別 | 知識・技能           | 73.2 | 70.1 | 70.0 |
|     | 思考・判断・表現        | 70.3 | 69.5 | 68.2 |
|     |                 |      |      |      |
|     |                 |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

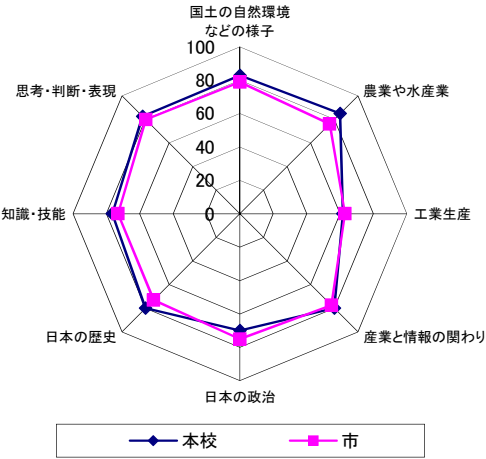
| 領域              | 本年度の状況                                                                                                                                                                | 今後の指導の重点                                                                                                                                                   |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | 平均正答率は、市の平均を3.9ポイント上回っている。<br>○11問ある本領域の設問中、7問において市の平均正答率を上回っており、漢字の読み書き使い方、言葉の使い方等がある程度定着していると言える。<br>●文章の中で、文脈にあった漢字を適切に使えるかを問う設問の正答率は25.0%であり、市の平均より11.7ポイント下回った。  | ・漢字の読み書きや言葉の使い方等、繰り返し練習し身に付ける取り組みを継続するとともに、各教科において、書く活動を取り入れ、既習事項を活用する機会を確保する。                                                                             |
| 情報の扱い方に関する事項    | 平均正答率は、市の平均を1.6ポイント上回っている。<br>○情報と情報の関係について理解し、目的に応じて文章を簡単に書く設問では、正答率が30.0%であり、市の平均を3.5ポイント上回っている。<br>●同問題において、正答率が市の平均を上回っているものの十分とは言えないこと、無回答率が15%あることから更なる向上が望まれる。 | ・情報を正しく読み取り、理由や事例を挙げる際に使う語彙に注目して文章を書けるように支援を継続する。<br>・各教科において資料や情報から読み取ったことを伝え合い、確かめ合う対話的な活動を取り入れ、考えたことを言葉で表すことに慣れることができるようにする。                            |
| 我が国の言語文化に関する事項  | 平均正答率は、市の平均を2.4ポイント下回っている。<br>●漢字の由来に対する理解を問う設問において、市の平均を2.4ポイント下回っている。                                                                                               | ・漢字や言葉を機械的に繰り返し練習するだけでなく、成り立ちや由来などにも興味をもてるように話題提供することで、自主学習等で自分に合った学び方ができるように支援する。                                                                         |
| 話すこと・聞くこと       | 平均正答率は、市の平均を8.2ポイント下回っている。<br>○話し手の目的に応じて、話の内容を捉える設問では、正答率が100%であった。<br>●計画的に話し合い、考えを広げるための工夫を捉える設問では正答率が65.0%であり、市の平均を21.1ポイント下回っている。                                | ・グループ学習やペア学習において、対話を促進する立場を意図的に設定し意見を交わさせることで、計画的に話し合ったり考えを広げたりする経験を積むことができるようにする。                                                                         |
| 書くこと            | 平均正答率は、市の平均を7.8ポイント上回っている。<br>○6問ある該当問題全てにおいて市の平均を上回っている。中には、正答率が100%の設問もある。<br>●情報と情報の関係について理解し、目的に応じて文章を簡単に書く設問では、市の平均を上回っているものの正答率が30.0%であり、課題であると言える。             | ・各教科においてchromebookを活用する取組を継続し、考えたことを書く活動を多く取り入れるとともに、書いた内容を基に友達と意見を交わし考察を繰り返す活動を設定する。<br>・気軽に考えを交わす雰囲気作りに努め、書いて考えを交流することへの苦手意識を取り払い、共に学ぶよさを感じることができるようになる。 |
| 読むこと            | 平均正答率は、市の平均を1.5ポイント下回っている。<br>○登場人物の心情や行動を描写を基に捉える設問では、正答率が90.0%であり市の平均を共に大きく上回っている。<br>●説明的文章の構成を捉える設問では、正答率が35.0%であり、市の平均53.2%を18.2ポイント下回っている。                      | ・筆者が何を伝えたいのか、そのためにどのような工夫をしているのか、読者の視点から筆者の視点へと移行していくような学習の流れを設定し、段落構成や論の進め方を知ることができるようににする。                                                               |

宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |              | 本年度  |      |      |
|-----|--------------|------|------|------|
|     |              | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 国土の自然環境などの様子 | 83.0 | 78.9 | 75.4 |
|     | 農業や水産業       | 85.0 | 76.1 | 71.2 |
|     | 工業生産         | 61.7 | 62.9 | 59.4 |
|     | 産業と情報の関わり    | 80.0 | 77.6 | 59.7 |
|     | 日本の政治        | 70.0 | 75.0 | 79.3 |
|     | 日本の歴史        | 80.0 | 73.1 | 72.8 |
| 観点別 | 知識・技能        | 76.4 | 73.0 | 71.4 |
|     | 思考・判断・表現     | 82.5 | 79.8 | 71.9 |
|     |              |      |      |      |
|     |              |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

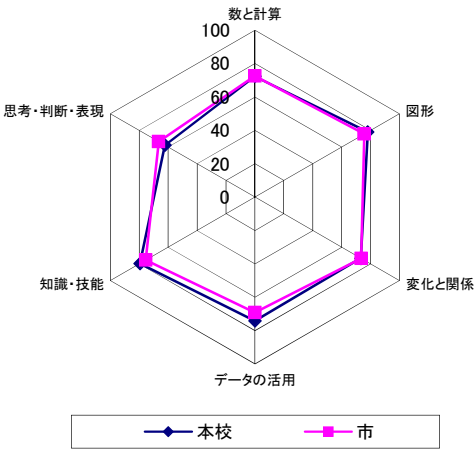
| 領域           | 本年度の状況                                                                                                                                                                   | 今後の指導の重点                                                                                                              |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国土の自然環境などの様子 | 平均正答率は、市の平均を4.1ポイント上回っている。<br>○「わたしたちの生活と環境」に関する設問では、正答率が100%であったり、市の平均を15.4ポイント上回っていたりと学習内容の定着が見られる。<br>●日本の主な地形の名称と位置を問う設問では、正答率が40.0%であり、市の平均49.7%を9.7ポイント下回っている。     | ・日本の主な地形、名称と位置など、知識的な内容は白地図などを活用して身に付けられるように繰り返し確認する機会を設ける。<br>・地形と気候、人々の暮らしなどを関連付けて説明する学習活動を設定し、体系的な知識の育成を図る。        |
| 農業や水産業       | 平均正答率は、市の平均を8.9ポイント上回っている。<br>○「日本の食料生産」に関する3つの設問において、全てで市の平均を上回っている。<br>●資料を読み取って答える設問では、正答率が80%と85%になっており更に向上できる余地があると言える。                                             | ・地図と統計資料などを関連付けて、現状を整理したり、資料を根拠に課題解決に向けた取り組みを考えたりする活動を取り入れ、資料を活用する力の向上を図る。                                            |
| 工業生産         | 平均正答率は、市の平均を1.2ポイント下回っているが、ほぼ同等と言える。<br>○日本の鉱産資源の輸入についての設問では、平均正答率が85.0%であり、市の平均をおよそ20ポイント上回っている。<br>●自動車工場の作業工程を問う設問では、平均正答率が50.0%であり、市の平均を20ポイント下回っている。学習内容の定着に差が見られる。 | ・よりよく自動車生産を行うための人々の努力と、その結果を関連付けていけるように学習活動を工夫する。<br>・学習課題に対して資料を基に、自分なりの予想を立て、仲間と話し合う活動を取り入れ、より確実な理解を促せるようにする。       |
| 産業と情報の関わり    | 平均正答率は、市の平均を2.4ポイント上回っている。<br>○インターネット利用の注意点に関する設問では、正答率が100%で、十分に定着していると言える。<br>●コンビニエンスストアで情報を活用する利点を考える設問では、正答率が60.0%で市の平均66.2%を6.2ポイント下回った。                          | ・生活の中の身近な場面で活用されている情報について調べ、まとめる活動を設定することで、実感を伴った知識が得られるようにする。                                                        |
| 日本の政治        | 平均正答率は、市の平均を5ポイント下回った。<br>○裁判の仕組みについての設問では、正答率が85.0%であり、市の平均79.6%を5.4ポイント上回った。<br>●国会の仕組みに関する設問では、平均正答率が60.0%であり市の平均71.2%を11.2ポイント下回っている。                                | ・日本国憲法や政治の仕組みなどが、自分たちの暮らしとどのように結びついているのか、対話しながら考えるような学習活動を設定することで、関連性を自覚できるようにする。<br>・AIDリル等を活用して用語を繰り返し練習し、確実な定着を図る。 |
| 日本の歴史        | 平均正答率は、市の平均を6.9ポイント上回っている。<br>○8問ある歴史に関する設問では、正答率100%のものも含めて7問において市の平均を上回っており、一定の定着が見られると言える。<br>●室町時代の文化に関する設問では、平均正答率が65.0%であり、市の平均を9.4ポイント下回っている。                     | ・日々の生活の中に根付いている文化を振り返る機会を教科外の時間にも取り入れ、歴史の連続性と共に知識を定着させられるようにする。                                                       |

宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 数と計算     | 72.3 | 72.6 | 73.1 |
|     | 図形       | 78.1 | 75.7 | 74.7 |
|     | 変化と関係    | 73.3 | 73.6 | 66.1 |
|     | データの活用   | 74.2 | 69.2 | 70.7 |
|     |          |      |      |      |
| 観点別 | 知識・技能    | 79.5 | 75.5 | 74.4 |
|     | 思考・判断・表現 | 62.2 | 66.5 | 67.2 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。  
(算数では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

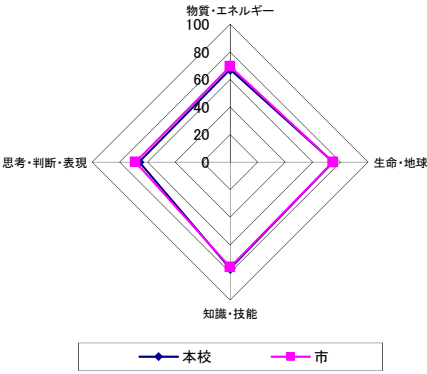
| 領域     | 本年度の状況                                                                                                                                                                        | 今後の指導の重点                                                                                                      |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と計算   | 平均正答率は、市の平均とほぼ同等である。<br>○小数や分数の計算において、平均正答率が市の平均を15ポイント以上上回っている設問5問中2問あり、他もすべて正答率が85%である。<br>●問題文と図を見て小数倍の考え方を活用し立式する設問では、平均正答率が60.0%で、市の平均を13.1ポイント下回っている。                   | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・小数倍の考え方を活用する問題において、なぜそのように立式するのかグループやペアで説明し合う活動を取り入れることで、文章問題の内容理解と関連付けられるようにする。 |
| 図形     | 平均正答率は、市の平均を2.4ポイント上回っている。<br>○多角形の内角の性質に関連する設問では、平均回答率が市の平均を10ポイント以上上回っている設問が2問あった。<br>●線対称な図形に関する設問では、平均正答率が45.0%で半数以下であり、市の平均48.9%を4.9ポイント下回っている。                          | ・対称な図形等の学習において、学習過程を確かめ合える場を設定することで、作業的な学習と用語を習い覚える学習を複合的に扱い、習熟を図れるようにする。                                     |
| 変化と関係  | 平均正答率は、市の平均とほぼ同等である。<br>○半分が何%であるかを問う設問では、正答率が100%であり、十分な理解が得られていると言える。<br>●速さの変換の設問では、平均正答率が50.0%であり、市の平均56.9%を6.9ポイント下回っている。                                                | ・単位量あたりの大きさの考え方を、実感を伴って学ぶような学習活動を設定し、知識と感覚の関連性を意識付け量感を育めるようにする。                                               |
| データの活用 | 平均正答率は、市の平均を5ポイント上回っている。<br>○円グラフよ読み取る設問では、正答率が100%である。また、読み取った割合から比較量を求める設問では、平均回答率が50%で市の平均を10.5ポイント上回っている。<br>●データの見方で代表値の特性を基に考えを記述する設問では、平均回答率が25.0%で市の平均を4.8ポイント下回っている。 | ・割合の学習と関連付けて習熟が図れるように練習問題を用意し、繰り返し取り組めるようにする。<br>・算数だけでなく、社会科等の教科において統計資料を読み取る際、既習事項と関連付けながら復習できるようにする。       |
|        |                                                                                                                                                                               |                                                                                                               |
|        |                                                                                                                                                                               |                                                                                                               |

宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |          | 本年度  |      |      |
|-----|----------|------|------|------|
|     |          | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 物質・エネルギー | 67.3 | 69.3 | 65.7 |
|     | 生命・地球    | 74.7 | 74.7 | 77.8 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |
| 観点別 | 知識・技能    | 77.1 | 76.2 | 76.4 |
|     | 思考・判断・表現 | 66.0 | 68.7 | 68.6 |
|     |          |      |      |      |
|     |          |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

| 領域       | 本年度の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 今後の指導の重点                                                                                                                                      |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 物質・エネルギー | 平均正答率は市の平均とほぼ同等である。<br>○ふりこの1往復する時間がいちばん短いふりこを指摘する問題では、正答率が95%と市の平均を9.2ポイント上回った。<br>○水に食塩を解かしても、合計の重さが変わらないことを理解しているかを問う問題では、正答率が90%と市の平均を12.1ポイント上回った。<br>●ふりこの1往復する時間の求め方を問う問題では、正答率が25%と市の平均を27.4ポイント下回った。<br>●電磁石と棒磁石に共通する特徴を指摘する問題では、正答率が55%と市の平均を14.8ポイント下回った。                                                            | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・実験方法を説明するだけでなく、児童に考えさせたり実験後に振り返らせたりする時間を十分にとること、知識の定着を図る。<br>・電磁石の特徴を学習する場面で、棒磁石との共通点や相違点を考えさせる活動をより重点的に行う。      |
| 生命・地球    | 平均正答率は市の平均と同等である。<br>○呼吸のはたらきにより空気と呼吸とで成分がどのように変わるかを問う問題では、正答率が80%と市の平均を12ポイント上回った。<br>○月の見え方についての実験で、いすに座った人を地球に、電灯を太陽に見立てていることを指摘する問題では、正答率が100%と市の平均を18.7ポイント上回った。<br>●植物の葉のでんぷんを作るはたらきと日光の関係を調べるために、対照実験を行う理由を推測する問題では、正答率が55%と市の平均を17.9ポイント下回った。<br>●月の見え方についての実験で、三日月のような形が見えるときのボールの位置を指摘する問題では、正答率が45%と市の平均を20ポイント下回った。 | ・予想や仮説をもとに実験方法を考え、実験し、得られた結果をもとに考察するといった手順を毎回の実験で繰り返し指導し、思考力の向上を図る。<br>・月の見え方について具体物を用いて実験した後、月の図を示してどの位置にすると同じように見えるかを考えさせることで、論理的思考力の向上を図る。 |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                               |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                               |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                               |
|          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                               |

## 宇都宮市立上河内東小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組              | 取組の具体的な内容                                                                      | 取組に関わる調査結果                                                                                                      |
|---------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| めあて、まとめ、ふりかえりの確認と徹底 | 児童が課題を受け止め、見通しをもって学習に取り組み、授業の終わりには自らの学習を振り返る時間を確保できるようにしている。                   | 全学年で「勉強が好きか」という項目や各教科の学習において「好き」と答えた児童の割合については、学年間でばらつきが見られた。4年生以上の「学校の授業が分かりますか」という質問では、肯定的に回答した児童の割合は100%である。 |
| 家庭学習の習慣化            | 上河内地域学校園での共通指導項目である「ゆずっこのきまり」の一つである家庭学習の習慣化を図るために、宿題以外にも自ら進んで自主学習をするように指導している。 | 6年生は「自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる」という質問において、肯定割合は45%と市の平均を22.9ポイント下回っている。家庭での学習時間の確保ができていない児童が多くいることが分かる。              |

### ★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方針

・6年生の市の調査において、問題や資料から読み取って理解したことなどを自分の言葉で説明するという記述式の設問や、話し合いの内容を聞き取る問題において、やや課題が見られた。授業等で資料をもとに読み取ったことを説明したり、書いて表現したりするなど、言語活動の充実を図っていききたい。

・「宿題はきちんとやっている」「宿題はきちんとやり期限までに出している」という設問において、全学年肯定割合が9割以上となっている。しかし、「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」という設問においては、学年間でばらつきが見られる。家庭学習を効果的に進めていけるよう、学習の仕方を例示したり、進んで学習している児童のやり方を紹介したりする。